



目的が明確でなかった高校時代

高校では周りがあくせく勉強し、テストの点数を競うのを横目に、どこか冷めた気持ちで過ごしていました。目的がない中、勉強するのは苦痛でした。大学進学時、深く自己分析したりやりたいことを考えたりはしませんでした。地元と違う環境に身を置きたいと思いました。地元からは遠いところで富山大学への進学を検討しました。共通テスト終了後の当時、富山市がニューヨークタイムズ紙の「2025年に行くべき52か所」に選ばれたというニュースを見ていました。街の魅力に触れたいという思いもありました。

やりたいことが定まらない中、工学系の中でもいろんな分野に応用ができる情報工学を学ぼうと考えました。富山大学工学部知能情報工学コースに進学しました。

一歩踏み出して広がった人間関係の輪

大学に入学し、高校までの自分を变えたいと思いました。教養の授業で出会った友人が、地域活動やイベントに多く参加している人でした。その友人との出会いをきっかけに、大学周辺のコミュニティの活動に参加するようになりました。一歩踏み出すと、友人の輪が一気に広がりました。高岡クラフト市場街のスタッフとして、伝統工芸が息づく街の魅力に触れて活動するなど、尊敬できる友人や先輩との出会いを通じて興味の幅を広げています。

学ぶことが楽しいと感じる

大学での学びは基本的に受け身ではなく、自ら行動することが求められます。高校までの勉強に比べ、自分がやりたいくてやる勉強という感じがして、とても楽しいです。先生方との距離感も程よく、コミュニケーションがとりやすいです。ユニークな先生が多く、お話をする中で興味の幅の広がりを実感しています。

富山大学広報アンバサダーとして活動

今秋に、「富山大学広報アンバサダー」の募集があり、応募することにしました。僕自身、富山大学のオープンキャンパスにも参加しておらず、大学のことをあまり調べずに入学しました。学生生活を送る中で、富山の自然に魅了されました。伸び伸びと学業と課外活動に取り組むことができています。富山大学に進学して良かったと心から思っています。富山大学公式のSNSを通じて、現役の学生という立場からその魅力を発信していきたいと考えています。



富山大学広報アンバサダー任命式の様子

高校の後輩へエール

何のために勉強するかわからなくなったら、ぜひ富山大学に来てほしいです。豊かな文化自然、地域に囲まれてチャレンジしやすい環境です。自分のやりたいことを見つめることができると思います。

富山大学広報アンバサダー
Instagramはこちら
(@tomidai_student_ambassador)

